

令和七年 業厄払い護摩祈願法要の御案内

拝啓

元号が令和になり、早くも七年目を迎えました。振り返れば、元年から今日まで、世界、社会、個人においても経験がないことが発生した年月。

その渦中であって、今を生かされていることに感謝です。早速ですが、二月三日、業厄払い護摩祈願法要を厳修いたします。

自らが知らず知らずに、あるいは心の穢れから、知りながら積んでしまった「業厄」によって起る罪科。これらの原因は、身と口と意。

その業厄を御護摩修法で御不動様に払っていただき、払った業厄が再び戻らぬように厄受け地藏菩薩が受けてくださる。

真に有難い一年に一度の行事でございます。

加えて、業厄年は人生の転換期・分岐点。

良くも悪くも変化が生じ、心が揺らぎやすく注意が必要な時。

また業厄年ではなくとも、家を建てる、あるいは婚姻等、人生の大きな変化の予定がある方々、その時こそ、御不動様の御加護を頂戴し、より一層心して過ごされます様、願ってやみません。

あわせまして不安定な経済が続く昨今、会社・店舗につきましても御祈願を承っております。

尚、一年の指針といたしまして「二〇二五年マントラ月運運勢図」を、ご希望の方に進呈させていただきます。申込書にその旨、お印ください。

(但し、七歳未満のお子様及び会社は控えさせていただきます。)

一年の安穏と安寧を念じ、大難は少難に、少難は無難へと導かれます様、御案内申し上げます。

法要後、威勢良く豆撒き、お多福まきを予定しております。

皆様の御参拝、お待ち申し上げます。

時節柄、御家族御一同様、一層ご自愛の上、心丈夫でお過ごし下さいませ。

※昨年の木札、念珠につきましては、新しいお札が届きました後、或いは本年お申込の際にお志と共にご返送下さいませ。

この御札は当寺の御本尊様の御分身でございますので、決して他所では始末されませぬ様、お願い申し上げます。

ご返送いただいた御札は御本尊様に御礼の上、御焚き上げさせていただきます。

肌着につきましては、ご自身で処理していただいて構いません。

合掌

令和七年 一月吉日

真伝不動明王寺